



会報

No. 63
平成17・12・1
みやま文庫

〔前橋市日吉町1-9-1〕
県立図書館内
Tel.027-232-4241

◎平成十七年度役職員

理事、運営幹事	船戸 正重 (県議会調査広報課長)
"	倉澤 勉 (県教育委員会文化課長)
"	伊藤 祐吉 ()
"	大沢 幸一 ()
"	平田 英勝 ()
"	松本 耕司 ()
"	木暮 繁俊 ()
"	安楽岡 一雄 ()
"	矢口 昇 ()
"	山本 龍 ()
理事	小林 義康 (群馬県議会議員)
副会長	内山 征洋 (群馬県教育長)
会長	小寺 弘之 (群馬県知事)

幹事	長谷川 一
事務局次長	藤平 進
事務局長	
"	森村 万子 女性・普及
"	野口 武久 文学
"	志田 俊子 生活科学
"	大島 俊彦 民俗
"	阪本 英一 民俗
"	中島 明 歴史(近世)
"	井田 金次郎 文学
"	小林 三雄 自然科学
"	石原 征明 歴史(近現代)
"	近藤 義雄 (兼任) 歴史(中世)
"	松島 榮治 (兼任) 歴史(古代)
編集幹事	中山 隆夫 (県立図書館副館長)
"	今野 秀克 (県生涯学習センター館長)
"	折茂 泉 (県教育委員会生涯学習課長)
運営幹事	〇海老原 洋三 (元県地方労働委員会事務局長)
"	福島 正巳 (元県人事委員会事務局長)
"	近藤 義雄 (かみつけの里博物館長)
"	松島 榮治 (県文化財保護審議会会長)
監事	
"	理事 運営幹事
"	編集委員 幹事

※。印は十七年度新任者及び異動者です。

◎平成18年度刊行、配本予定(次の中から4巻)

- 「群馬の福祉」(杉山了著)
- 「群馬の鉄道」(大島登志彦著)
- 「上州と横山大観」(小林二三雄、小板橋良平共著)
- 「富岡製糸」(今井幹夫著)
- 「伊藤信吉 - 群馬における文化的足跡 - 」(野口武久ほか7人共著)

◎行事、会議等開催

- ・17.3.16 編集委員会開催
- ・17.6.3 財務会計監事調査実施
- ・17.6.14 運営編集合同幹事会議開催

◎第9回みやま文庫の旅-信州街道を往く-に35名が参加

10月16日(日)松島榮治先生を講師に迎えて、中山道下豊岡の分岐点道標から信州街道の神山宿、三ノ倉宿、大戸宿、大戸関所、羽根尾宿、大笹宿、大笹関所と天明3年の浅間山大噴火で埋没した鎌原村を訪ねました。大戸では、丸山不二夫先生が説明してくださいました。大戸(くろりじ)神社の石燈籠にも案内していただきました。鎌原では、村郷土資料館、観音堂で、発掘を担当された講師の松島先生から興味深い丁寧な説明を受けて、右を仏の道と志るべし「抜け道の碑」(揚雲雀見)にて休もうと、初めて知る碑に全員が感激しました。

私にとつてのみやま文庫 勝矢 英雄(前橋市岩町町)

各地の名所・旧跡を訪れたる観光客は未知のものに對する好奇心に満ち溢れております。一方、その土地に長らく住む人達は生まれ育った人達だけに無く、他府県から移住して来て5年10年と長らく住み続けた人でも、とれだけ貴重な名所・旧跡と言へどもそれらに對する関心は薄れてしまひ、それらの名所・旧跡も有つて当然で不思議な存在では無くなつてしまひます。斯く言う私は転勤族の一人です。これまで回数家族共々各地を移り住み、現在に至つております。新しい土地に移ると名所・旧跡を訪れ観光客と同じで、直後は好奇心と物珍しさにあふちこちを歩き回ります。数年ですと好奇心も失ひ物珍しくなくなつてしまひます。しかし、時間的に暇な今、有名な名所・旧跡で無くとも町角の事物や習俗を見ていると、“なんだらう”とか“何故そこ”とかの疑問がわき、それらの由来や存在理由などを細かく項目については十分な頁は与えられておらず、小さい事柄たつては詳細には書かれておらず、私の持つ雑学的好好奇心を満たしてくれません。各々の群馬に深い関係を持たれたる研究者が執筆された広い分野にわたる、その点「みやま文庫」は歴史や自然的はじめ様々な点において、私の好奇心を満たしてくれまふ。群馬に生まれ育つたのには無い私にでも、古里に住む友人にガイドブックには書かれていない群馬の姿を教える事が出来ます。その為の貴重な資料であり、そして私の好奇心を再び刺激してくれるのが「みやま文庫」です。

平成17年度収支予算書

(単位：円)

1 収入の部

科目	予算額 A	前年度 決算額 B	増減額 (A-B) C	備考
会費	8,200,000	8,504,500	△304,500	・平成17年度会費 ・過年度未収会費
頒布代	1,000,000	1,216,650	△216,650	・頒布代
補助金	3,000,000	3,382,000	△382,000	・県補助金
雑収入	18,000	27,042	△9,042	・預金利子 ・職員雇用保険料
繰越金	420,427	322,031	98,396	・前年度より
合計	12,638,427	13,452,223	△813,796	

2 支出の部

科目	予算額 A	前年度 決算額 B	増減額 (A-B) C	備考
人件費	4,058,400	3,872,911	185,489	・職員給与(2名分)
会議費	60,000	61,640	△1,640	・編集、運営合同幹事会 ・理事会
調査費	320,000	364,600	△44,600	・原稿作成調査費
編集費	50,000	49,630	370	・編集委員会
印刷費	6,930,000	7,432,950	△502,950	・印刷製本費
発送費	250,000	273,143	△23,143	・書籍送費、入夫賃等 ・地区配本センター謝礼
事務費	150,000	150,643	△643	・事務局運営費
諸費	220,000	248,101	△28,101	・郵便振替手数料、慶弔費、旅費等
負担分	541,500	540,597	903	・職員健康保険、厚生年金保険、労働保険等負担金
予備費	58,527	37,581	20,946	・予備費
合計	12,638,427	13,031,796	△393,369	

平成16年度収支決算書

(単位：円)

1 収入の部

科目	決算額 A	予算額 B	増減額 (A-B) C	備考
会費	8,504,500	8,700,000	△195,500	・平成16年度会費 ・過年度未収会費
頒布代	1,216,650	950,000	266,650	・頒布代
補助金	3,382,000	3,382,000	0	・県補助金
雑収入	27,042	13,000	14,042	・預金利子 ・職員雇用保険料
繰越金	322,031	322,031	0	
合計	13,452,223	13,367,031	85,192	

2 支出の部

科目	決算額 A	予算額 B	増減額 (A-B) C	備考
人件費	3,872,911	3,831,450	41,461	・職員給与(2名分)
会議費	61,640	70,000	△8,360	・編集、運営合同幹事会 ・理事会
調査費	364,600	396,000	△31,400	・原稿作成調査費
編集費	49,630	50,000	△370	・編集委員会
印刷費	7,432,950	7,600,000	△167,050	・印刷製本費
発送費	273,143	400,000	△126,857	・書籍送費 ・地区配本センター謝礼
事務費	150,643	200,000	△49,357	・事務局運営費
諸費	248,101	250,000	△1,899	・郵便振替手数料他
負担分	540,597	532,000	8,597	・職員健康保険、厚生年金保険、労働保険等負担金
予備費	37,581	37,581	0	・みやま文庫の旅補助
合計	13,031,796	13,367,031	△335,235	
差引次年度繰越額	収入額 13,452,223円 - 支出額 13,031,796円 = 繰越額 420,427円			

監査の結果誤りのないことを認めます 平成17年6月3日

監事 福島正巳
海老原洋三